

はじめに

2019年度のQOL研究機構社会福祉学研究所研究・活動報告書をお届けいたします。本研究所では毎年研究・活動助成を行い、その成果を研究・活動報告書としてまとめております。本報告書では、3編の研究・活動報告を掲載しております。

『「のべおか子どもセンター」18年目の活動報告』では、18年目を迎えた延岡市教育委員会（社会教育課）との連携事業である「のべおか子どもセンター」の本年度の取り組みと活動が報告されています。本年度より、大学側の運営がスポーツ健康福祉学科を中心とした体制となりました。教員を目指す学生にとって貴重な体験学習の場となっています。今後、さらに充実させた活動を展開してまいりたいと思います。『「野球日本代表チームトレーナーによる特別講演会」の開催報告』では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を翌年度に控え、メダル獲得が期待される野球日本代表チームを30年という長きに渡りトレーナーとして支えてきた専門家を講師として招聘し、多くのトップアスリートをサポートしてきた経験をお話しいただいた概要が報告されています。『2019年度 美と健康の東洋医学講演会植物の力でアンチエイジング ～今、話題のフィットセラピー（植物療法）とセルフハンドケア実践～』の開催報告』では、健康寿命を延ばす一手段としてのアンチエイジングに対する植物の役割について、フィットセラピーとセルフハンドケアの専門家による一般市民公開講座の概要が報告されています。

本研究所の研究・活動および本報告書の内容が、より良い地域社会を構築するための一助となりますことを願っております。

令和2年3月

九州保健福祉大学
QOL研究機構 社会福祉学研究所
所 長 正 野 知 基